

株式会社テクノマセマティカル

平成23年3月期＜第11期＞

決 算 説 明 会

■ Algorithm Specialist

TMC

平成23年5月18日

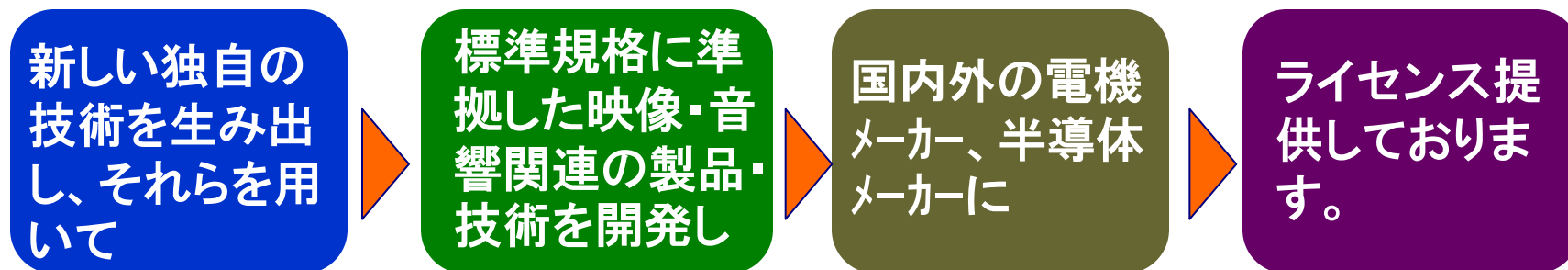
Agenda

1. 事業概要
2. 今期決算と来期予想
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. H24/3期
6. これからの事業展開について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ① 高圧縮率、
- ② 高画質、
- ③ 低消費電力、
- ④ 低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノ マセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

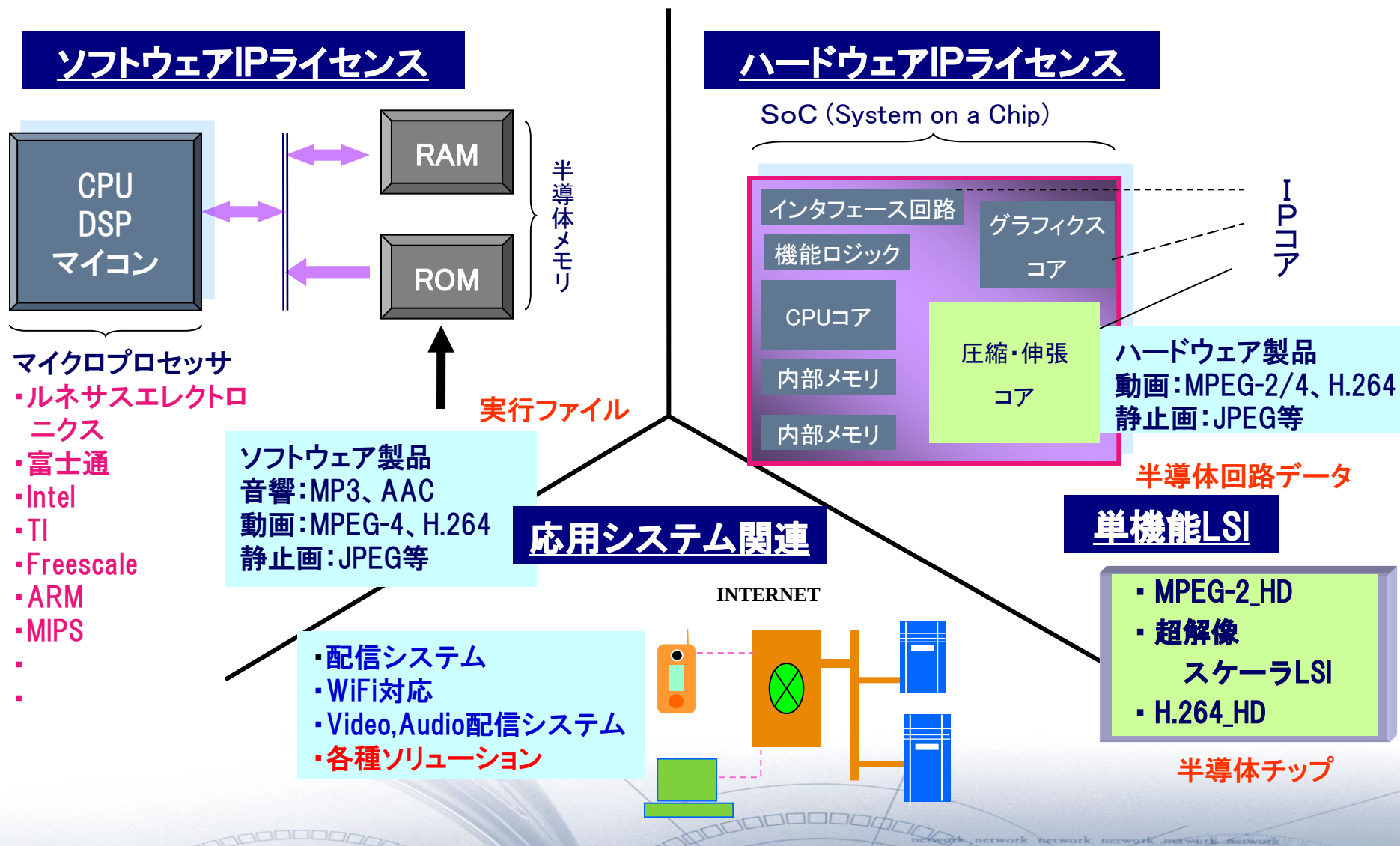
ソフトウェアIP

ハードウェアIP

単機能LSI

応用システム事業

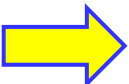
1-3 製品形態



1-3-1 画像／映像

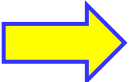
カラー静止画像

高速JPEG:4画素／クロック

 **高速プリントも可能な処理速度**

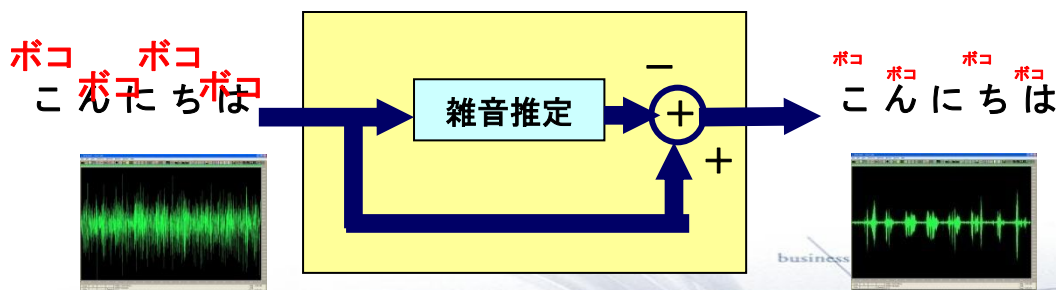
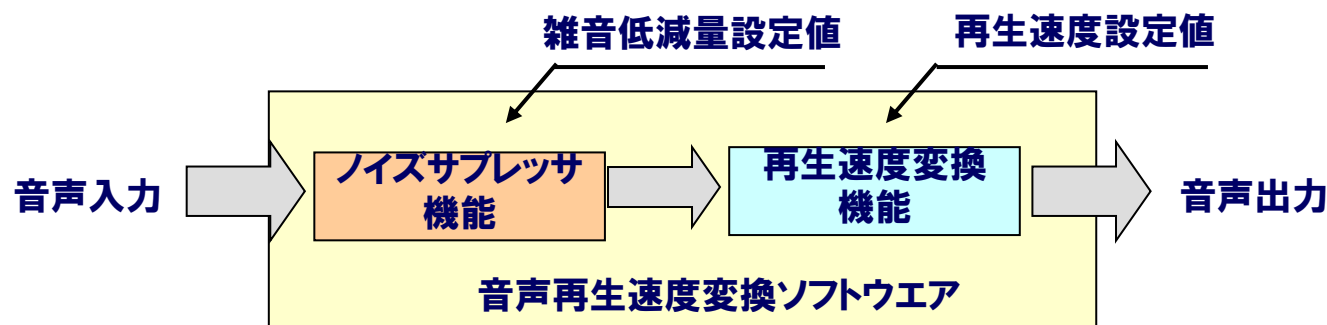
カラー動画像

一眼レフカメラ品質のH.264フルHD動画

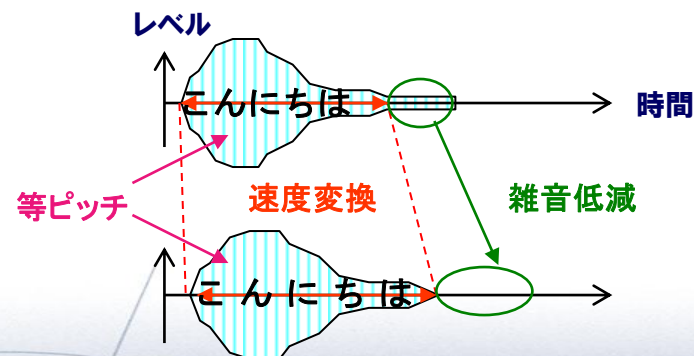
 **各種カメラで高画質撮影が可能に**

1-3-2 音響／音声

- ①エコーキャンセラ:電話でのコダマのような自分の声の戻りを無くす
- ②ノイズ除去:雑音混在環境下(新幹線車内など)で問題なく会話できる
- ③話速度変換:音質(ピッチ)を変えないで(誰の声かわかる) ゆっくり話す(再生する)ので年配者も聞き取れる



②雑音低減ソフトウェアの処理イメージ図



③再生速度変換効果のイメージ図

1-3-3 当社製品適用事例



フルHD動画撮影用

- ・H.264/MPEG2
- －ハイ・クオリティ
- －低消費電力



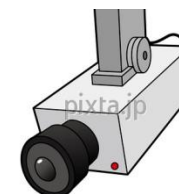
携帯・小型端末用

- ・ワンセグシステム
- ・エコー、ノイズキャンセル
- －高品質
- －低消費電力



TV会議・監視カメラ

- ・エコーキャンセラ
- ・風雑音キャンセラ
- －独自技術



1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像／音響／音声製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存／新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 損益計算書推移

(単位:百万円、%)

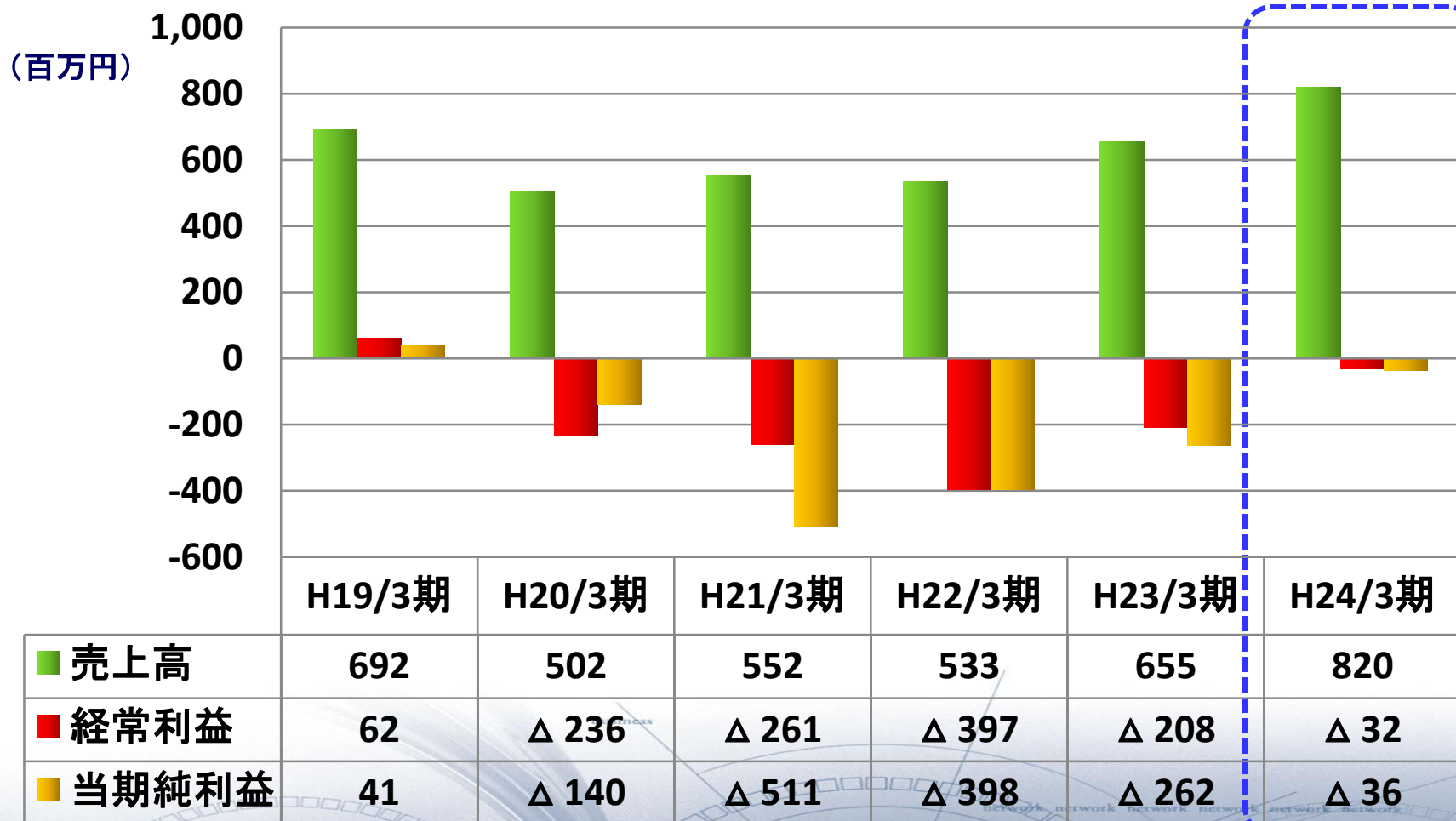
	H22/3期(実績)			H23/3期(実績)			H24/3期(予想)		
	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額
売 上 高	533	100.0	△19	655	100.0	122	820	100.0	165
売上総利益	408	76.5	111	551	84.1	143	693	84.5	142
販売管理費	816	153.1	243	766	116.9	△50	727	88.6	△39
営 業 利 益	△ 407	△ 76.4	△ 131	△ 214	△ 32.7	193	△ 34	△ 4.1	180
経 常 利 益	△ 397	△ 74.5	△ 136	△ 208	△ 31.8	189	△ 32	△ 3.9	176
当 期 純 利 益	△ 398	△ 74.7	113	△ 262	△ 40.0	136	△ 36	△ 4.4	226

2-2 業績の推移

H23/3期
要因

- ◆ 売上高 SW部門売上の大幅増により4期ぶりの6億円台
- ◆ 増収/経費節減効果により経常損失幅縮小
- ◆ 希望退職関連で約40百万円の特別損失発生

H24/3期予想

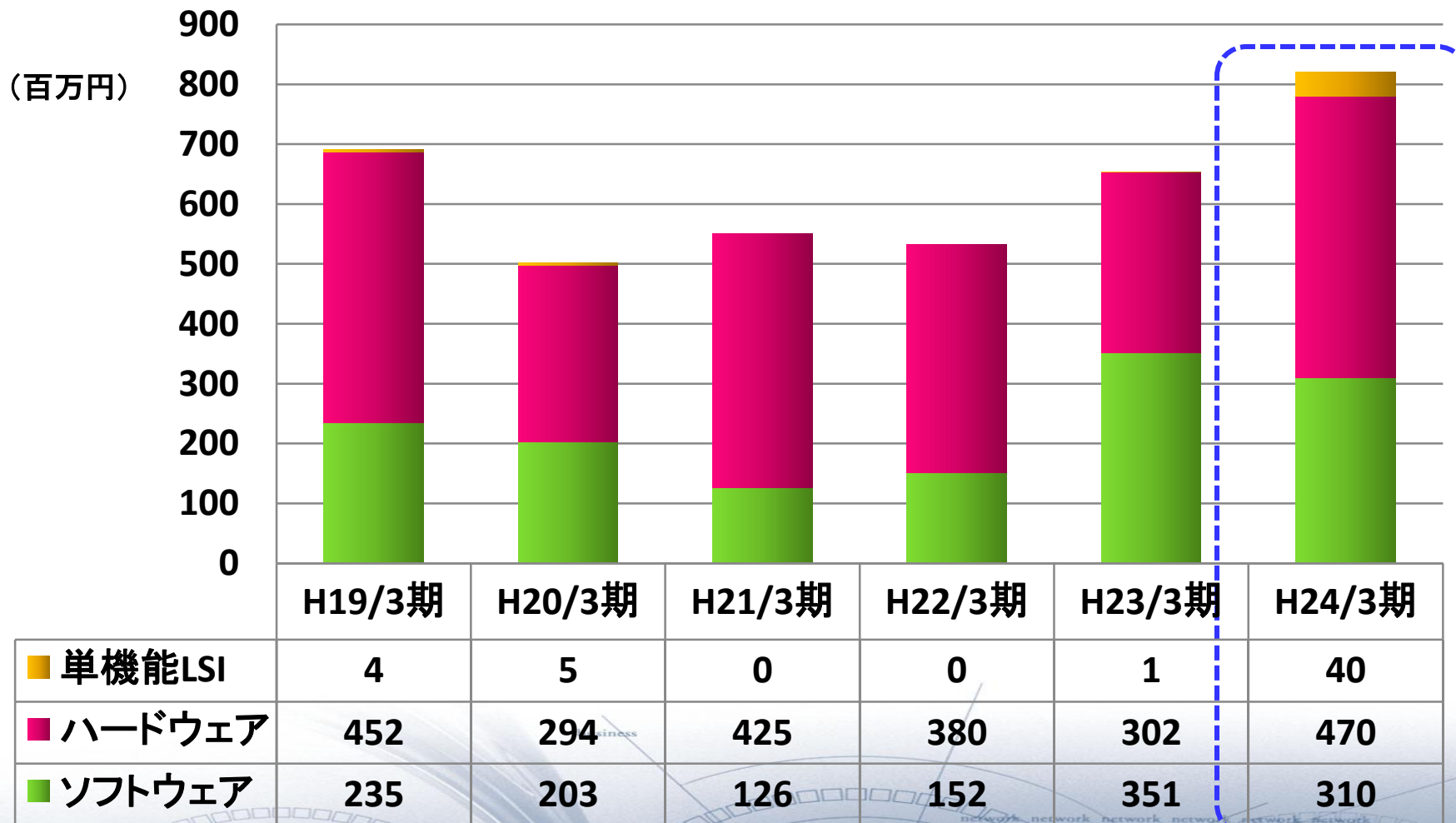


3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

H23/3期

◆ソフトウェアは前期比大幅増加・・・車載向け、ゲーム機向けに売上拡大

◆ハードウェアは前期比減少続く・・・大型案件あるもランニング・ロイヤルティが下支え

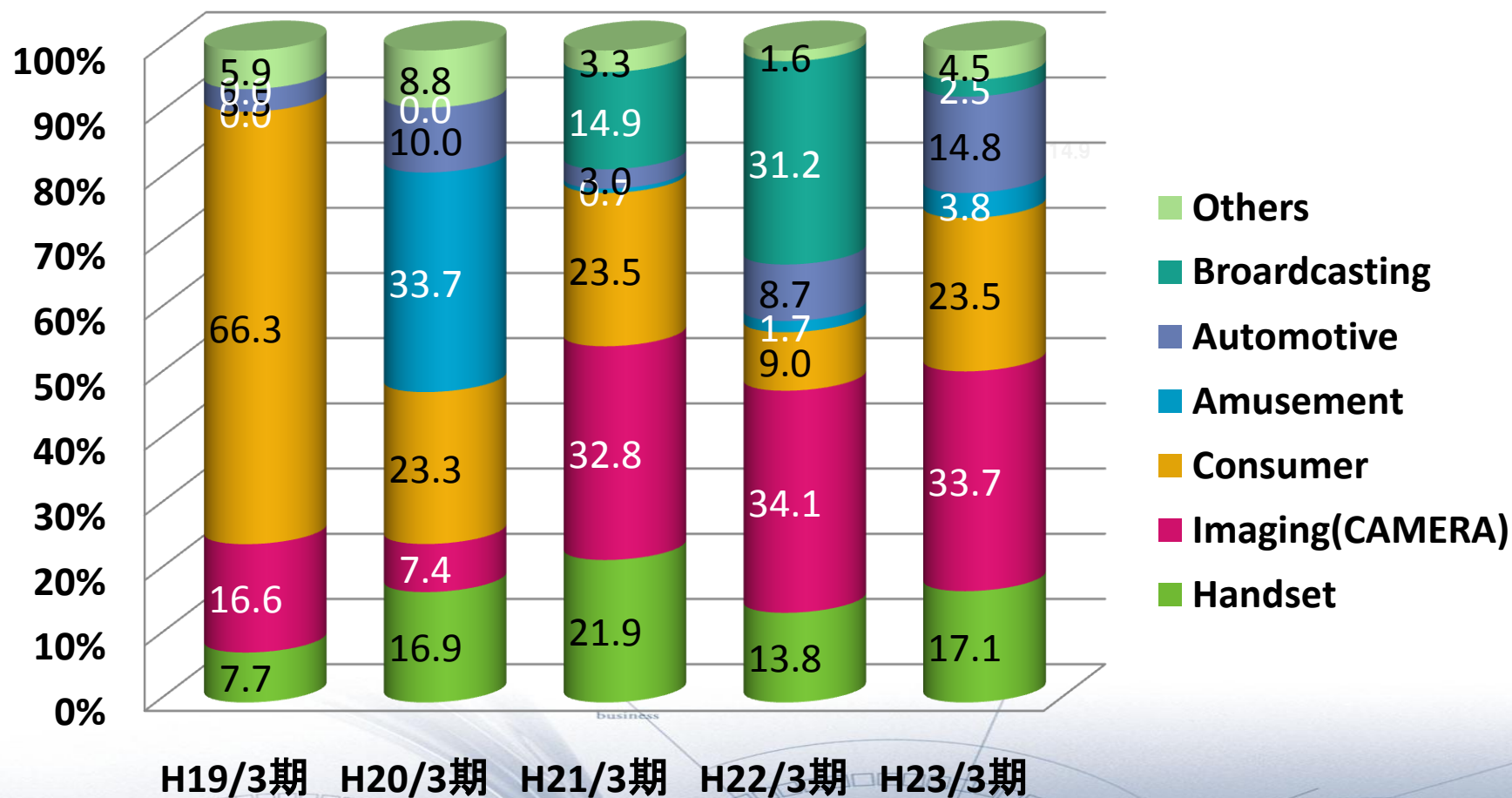


3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

◆カメラ関連は堅調、ゲーム、自動車関連も持ち直し

H23/3期

◆動画配信システム関連は大型案件獲得に至らず



4-1 貸借対照表 (平成23年3月31日)

(単位:百万円)	H23/3末	構成比	対前期末比 増減	H22/3末
流動資産	3,119	95.9%	▲148	3,267
固定資産	132	4.0%	▲36	168
資産合計	3,252	100.0%	▲184	3,436
流動負債	134	4.1%	43	91
固定負債	7	0.2%	7	—
純資産	3,110	95.6%	▲235	3,345

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

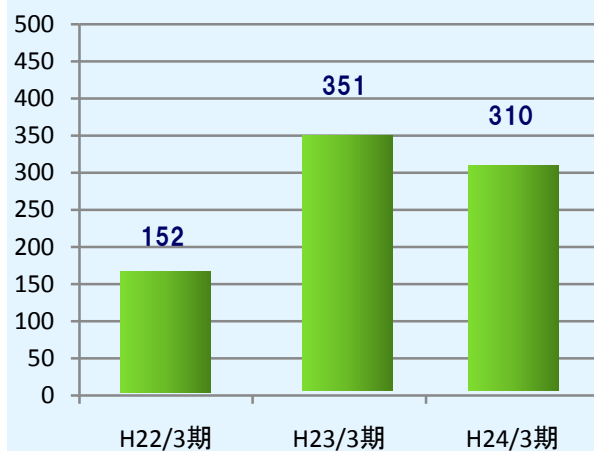
(単位:百万円)	H23/3期 第2四半期	当 期 (H23/3期)	対前期比 増減	前 期 (H22/3期)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 273	△298	△ 12	△286
投資活動による キャッシュ・フロー	691	1,491	4,214	△2,723
財務活動による キャッシュ・フロー	—	28	8	20
現金及び現金同等 物の増減額	418	1,220	4,209	△2,989
現金及び現金同等 物の期首残高	361	361	△2,989	3,350
現金及び現金同等 物の期末残高	779	1,581	1,220	361

3ヶ月超定期預金
払い戻しによる増加

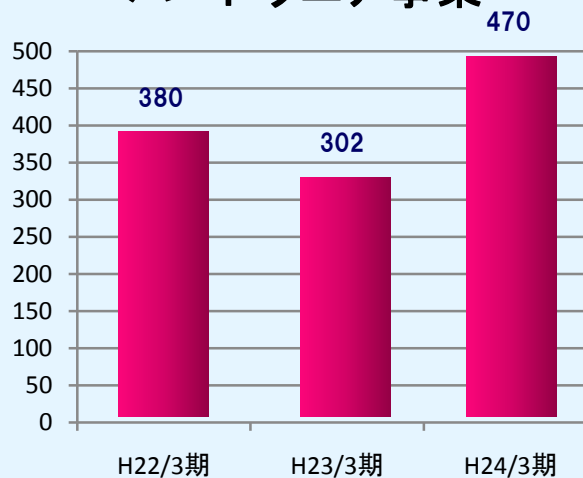
5-1 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、H22/3期、H23/3期は実績、H24/3期は予想）

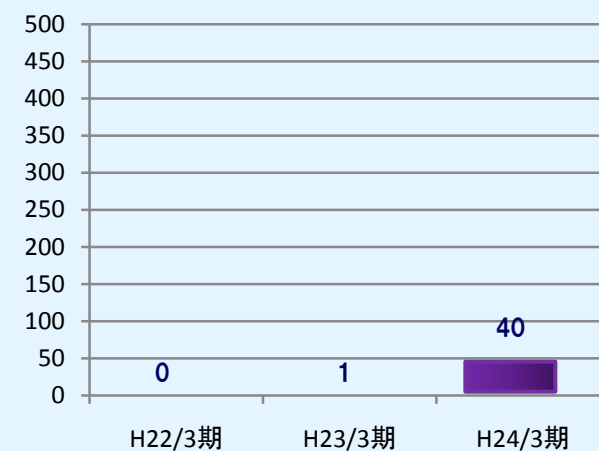
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



LSI事業



予想
基礎

- ・ **ワンセグ、カメラ（監視カメラ含む）** 関連でビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・ **オーディオ、ボイス** 関連も携帯電話、ゲーム機向けに伸び見込む

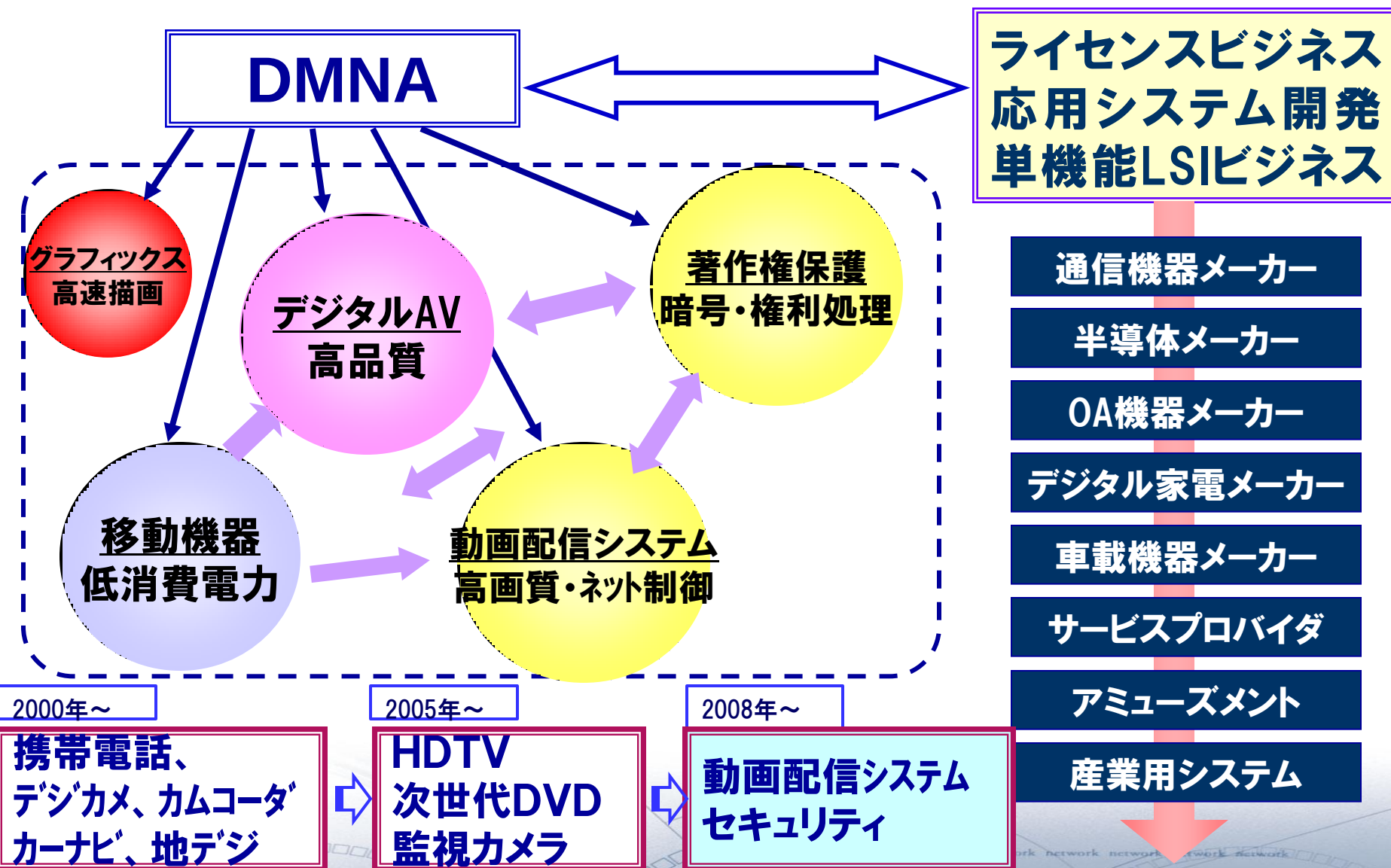
- ・ **デジカメ** 向けに堅調な需要を見込む
- ・ **プリンタ、アミューズメント** 向けも期待
- ・ **HD対応** 案件のニーズは堅調。実需の拡大期

- ・ **H.264LSI** はボードに組み込み顧客の使い勝手をよくして販売強化
- ・ 用途を民生用から産業用に拡大して顧客を開拓

5-2 平成24年3月期における課題

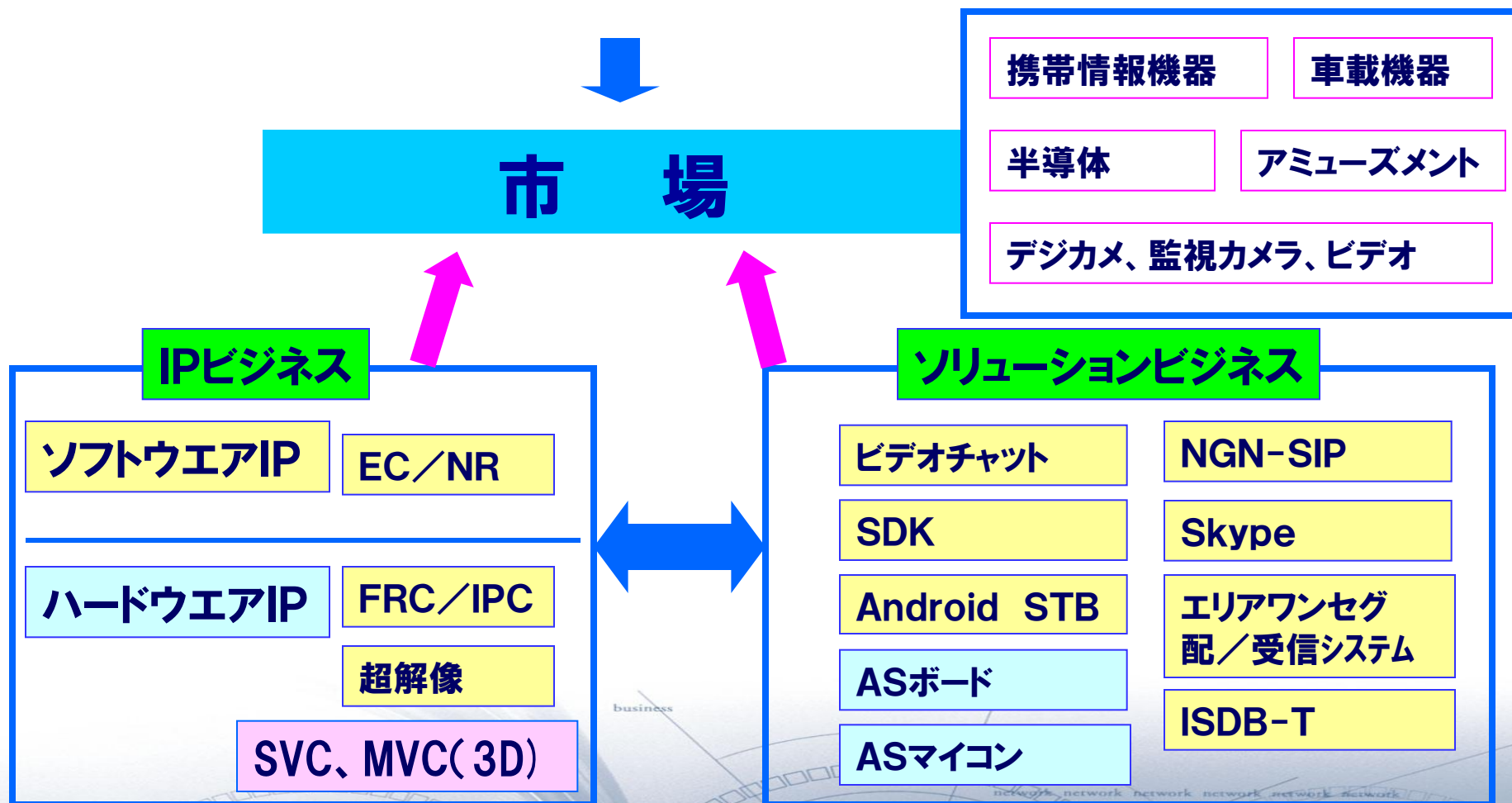
1. IPビジネスに加えソリューションビジネスへ本格展開開始
2. 営業進捗・予算管理の強化による損益黒字化の達成
3. 既存技術のブラッシュアップによる差別化/優位性の維持・強化
4. 新技術の開発によるマーケット・ニーズの先取り/開拓

6-1 ビジネス展開の推移



6-2 IPビジネスとソリューションビジネス

双方向コミュニケーション機能



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-5798-3636 E-mail:ir@tmath.co.jp